

第33回学会大会 “ワークショップ企画 ～その2～”

ワークショップグランドコーディネーター
鈴木 秀 雄

昨年の第32回学会大会(会場：大分大学)で、初めて研究交流および教育交流活動を活発にする試みとして学会大会開催と共に、3つのワークショップ(①セラピューティックレクリエーション専門分科会、②景観・造園・環境系、③レジャー・レクリエーション産業系)が企画されました。各々のテーマは ①「それぞれの専門領域からスポーツをどう捉えるか」、②「地域のアウトドア・レクリエーションと資源空間の管理」、③「ワールドカップを総括する」という内容でした。学会大会時に初めて企画されたワークショップでしたが、多くの会員の熱心な参加により、いずれのワークショップも盛会で、多くの意見交換や情報交換がなされ、十分な研究成果をあげ、成功裡に開催されました。

活性化を意図して企画された昨年初めてのワークショップでしたが、学会発展の一翼を担う形態へと昇華するねらいから、第33回学会大会(会場：東北福祉大学)では学会新企画の地域研究を加え、引き続きこれらの3つのワークショップも開催される運びとなりました。昨年と同様グランドコーディネーター及び①セラピューティックレクリエーション分科会コーディネーターとしては学会副会長の鈴木秀雄(関東学院大学人間環境学部教授)がつとめ、②景観・造園・環境系は、学会常任理事の麻生恵(東京農業大学地域環境科学部教授)が、③レジャー・レクリエーション産業系は、同様に、学会常任理事の嵯峨寿(筑波大学助教授)がコーディネーターを務めます。

第2日目の11月8日(土)の基調講演(13:10～14:10)、シンポジウム(14:20～15:40)の後、これらのワークショップ(15:50～17:50)が開催されます。このワークショップは、3つのグループに分科され、それぞれのワークショップが同時進行で2時間にわたって実施されます。